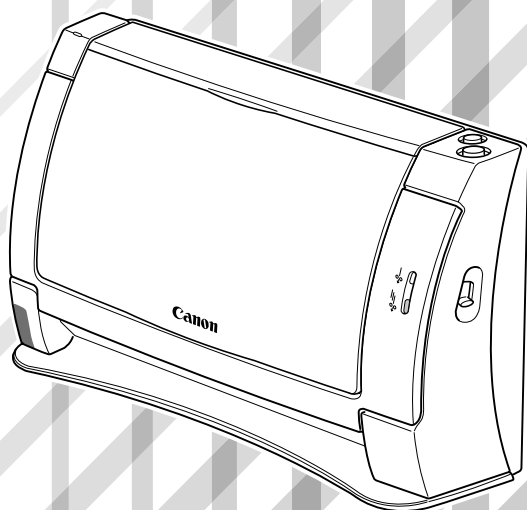


Canon

ドキュメントスキャナ
DR-2050SP

ユーザーズガイド
プレゼンテーションモード編

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

商標および登録商標について



- 本製品は、赤外線通信機能として株式会社 ACCESS の IrFront を搭載しています。
- Access、IrFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。

利用規約について

TOPPERS/JSP Kernel

Toyohashi Open Platform for Embedded Real-Time Systems/Just Standard Profile Kernel

Copyright © 2000-2003 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory Toyohashi Univ. of Technology, JAPAN

Copyright © 2004-2005 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory Graduate School of Information Science, Nagoya Univ., JAPAN

上記著作権者は、以下の (1)～(4) の条件か、Free Software Foundation によって公表されている GNU General Public License の Version 2 に記述されている条件を満たす場合に限り、本ソフトウェア（本ソフトウェアを改変したものを含む。以下同じ）を使用・複製・改変・再配布（以下、利用と呼ぶ）することを無償で許諾する。

- (1) 本ソフトウェアをソースコードの形で利用する場合には、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定が、そのままの形でソースコード中に含まれていること。
- (2) 本ソフトウェアを、ライブラリ形式など、他のソフトウェア開発に使用できる形で再配布する場合には、再配布に伴うドキュメント（利用者マニュアルなど）に、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること。
- (3) 本ソフトウェアを、機器に組み込むなど、他のソフトウェア開発に使用できない形で再配布する場合には、次のいずれかの条件を満たすこと。
 - (a) 再配布に伴うドキュメント（利用者マニュアルなど）に、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること。
 - (b) 再配布の形態を、別に定める方法によって、TOPPERS プロジェクトに報告すること。
- (4) 本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じるいかなる損害からも、上記著作権者およびTOPPERS プロジェクトを免責すること。

本ソフトウェアは、無保証で提供されているものである。上記著作権者および TOPPERS プロジェクトは、本ソフトウェアに関して、その適用可能性も含めて、いかなる保証も行わない。また、本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても、その責任を負わない。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ② 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気付きの点がございましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- ④ 運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

複製についてのご注意

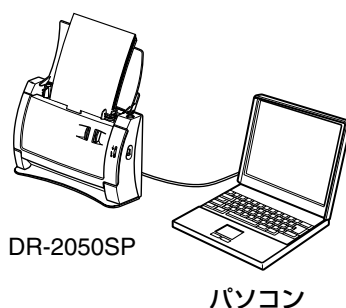
- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

はじめに

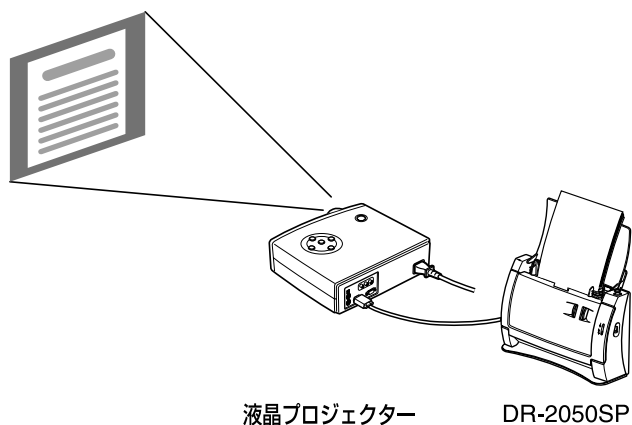
このたびはキヤノン DR-2050SP スキャナをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機は液晶プロジェクターに接続して使用するシートフィードタイプの小型カラースキャナです。プレゼンテーションモードを使用すると、スキャンした原稿はコンピュータを介さずに直接プロジェクターからスクリーンに投写されますので、手軽にプレゼンテーションを行えます。本機の機能を充分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みになったあとは必ず保管してください。

本書はDR-2050SPの「プレゼンテーションモード」を使用する際にお読みください。「スキャナモード」をお使いになる場合は、「DR-2050CII/SPユーザーズガイド」をお読みください。

■ スキャナモード



■ プレゼンテーションモード



本書内の表記について

ここでは、本書で使用している記号・表示について説明します。本書をお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→P.12)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

はじめに	1
本書内の表記について	2
目次	3
お使いになる前に	4
本機の特長（プレゼンテーションモード）	4
各部の名称と機能	5
準備する	8
液晶プロジェクターと接続する	8
リモコンを準備する	9
電源をオン/オフする	10
使いかた	12
原稿を読み取る	12
画面の操作	13
USB メモリを使う	17
設定する	19
本機の設定	19
設定項目	21
困ったときは	24
紙が詰まったら	24
メッセージが表示されたら	24
スクリーンに何も表示されないときは	27
おもな仕様	28
保証とアフターサービス	29
修理受付窓口	30
サービス & サポートのご案内	31
保守サービスのご案内	32

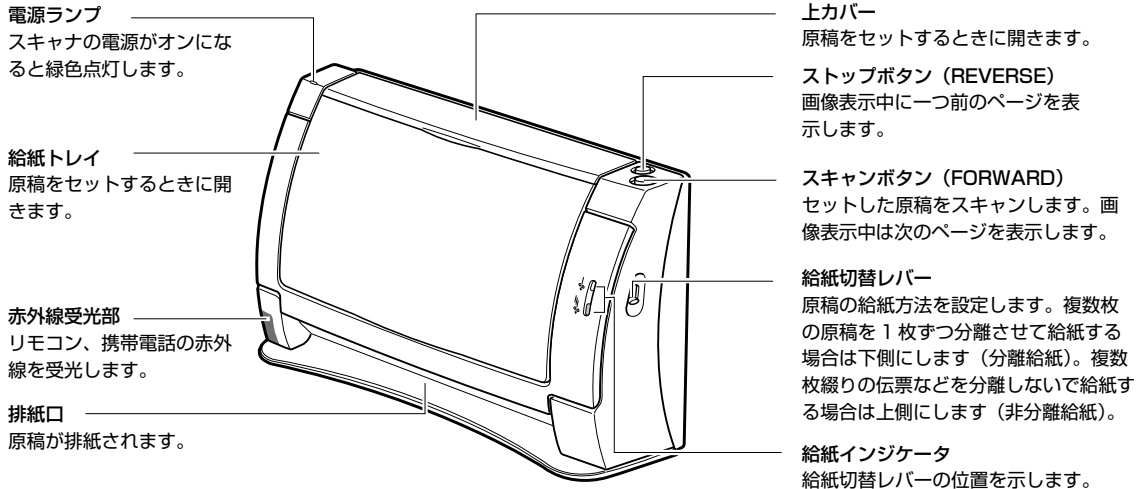
お使いになる前に

本機の特長（プレゼンテーションモード）

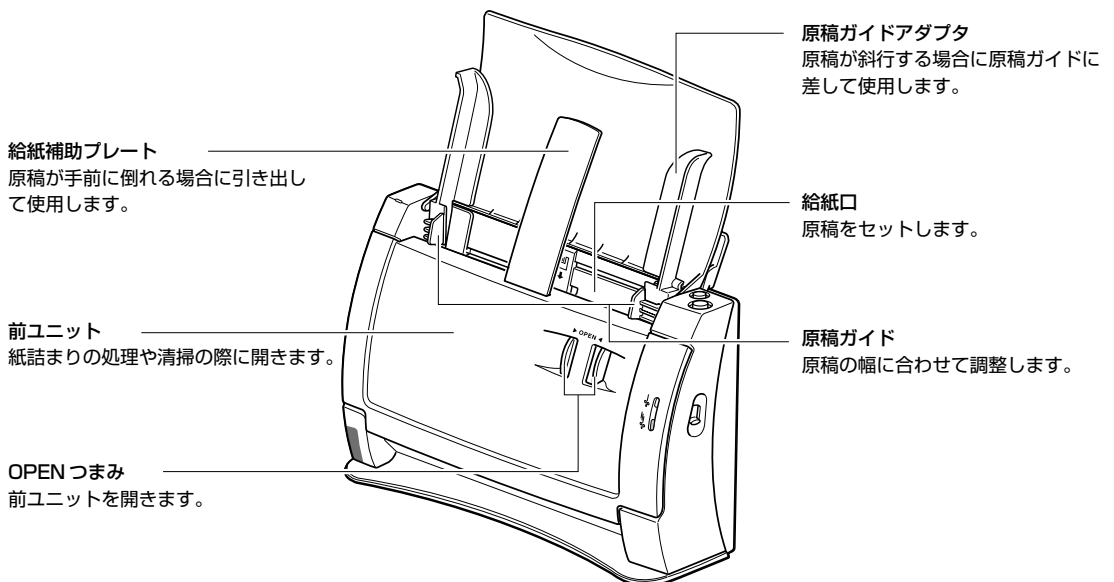
- 本機を液晶プロジェクターに接続すると*、スキャンした原稿はコンピュータを介さずにスクリーンに直接投写することができます。
*本機がUSBケーブルでパソコンと接続されているときは「スキャナモード」となります。
- 操作はリモコンを使用し、離れた場所からでも操作できます。
- 次に表示させたい原稿をあらかじめ読み込んでおくことによって（先読み機能）、素早く画像表示を行うことができます。
- USBメモリを接続することができます。USBメモリ内の画像を投写したり、スキャンした画像をUSBメモリに保存できます。
- 携帯電話**で撮影したJPEG画像を赤外線通信によって本機に転送し、投写することができます（ただし、すべての携帯電話との通信を保証するものではありません）。
** お使いの携帯電話が赤外線通信に対応している必要があります。
- 市販のUSBマウスを接続して操作することもできます。

各部の名称と機能

■ 前面・右側面

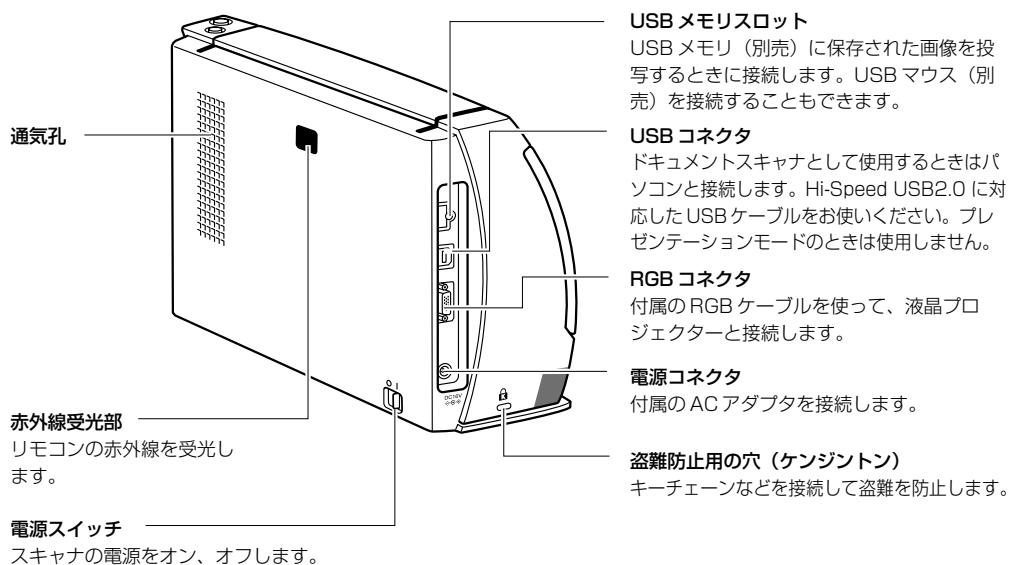


■ 前面 (上カバーと給紙トレイを開いた状態)



お使いになる前に

■ 背面・左側面



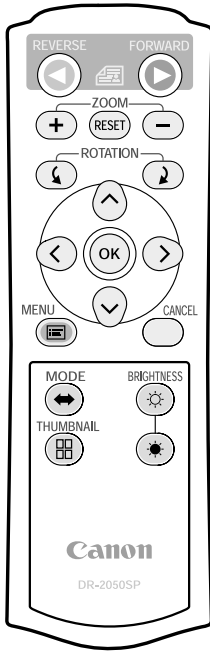
⚠ 注意

通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

📄 お願い

付属品以外の AC アダプタや RGB ケーブルを使用しないでください。

■ リモコン



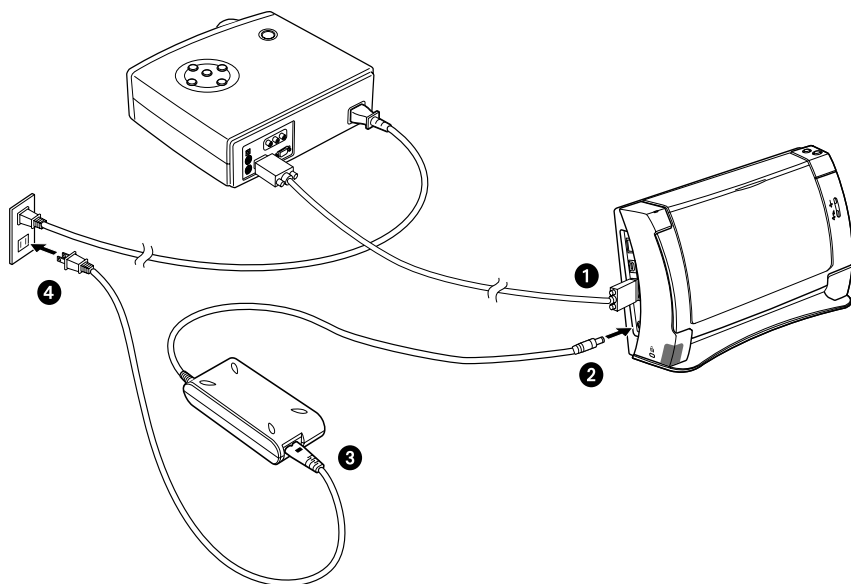
操作キー	機能
REVERSE (リバース)	スクリーンに表示されている画像のひとつ前の画像を表示します。
FORWARD (フォワード)	給紙トレイにセットした原稿を読み取ったり、メモリに保存されている次の画像を表示します。
ZOOM (ズーム)	+ : スクリーン上の画像を拡大表示します。 - : スクリーン上の画像を縮小表示します。 RESET : スクリーン上の画像を表示方式に合わせて表示します。(→ P.22 「表示方式」)
ROTATION (↺, ↻) (ローテーション)	↻ キーでスクリーン上の画像を時計回りに 90 度ずつ回転します。 ↺ キーでスクリーン上の画像を反時計回りに 90 度ずつ回転します。
△, ▽, <, > (矢印キー)	画像が拡大表示されている場合は、画像を矢印の方向にスクロールします。 カーソルが表示されている場合は、カーソルの移動に使用します。このとき、カーソルを画像の端に移動させると、画像がスクロールします。
OK	メニューツールバーや設定ツールバーの項目を選択します。また、フォルダ画面やサムネイル画面が表示されているときは、フォルダや画像を選択します。メニューツールバーが表示されていないときは FORWARD キーと同じ働きをします。
MENU (メニュー)	メニューツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。
CANCEL (キャンセル)	メニュー操作をキャンセルします。
MODE (モード)	メインメモリモードと USBメモリモードを切り替えます。
THUMBNAIL (サムネイル)	スクリーンに表示されている画像をサムネイル表示します。サムネイル表示中はフォルダ表示します (USBメモリモード時のみ)。
☀, ☀ (明るさキー)	スクリーン上の画像の明るさを調整します。 ☀ キーでスクリーン上の画像が明るくなり、☀ キーでスクリーン上の画像が暗くなります。

準備する

液晶プロジェクターと接続する

液晶プロジェクターと接続するまえに、本機がパソコンと接続されていないことを確認してください。接続された状態ではプレゼンテーションモードでご使用になれません。

- 1** 本機および液晶プロジェクターの電源が入っていないことを確認します。
- 2** 付属のRGBケーブル（D-sub15ピン）の片方をRGBコネクタに接続し、もう片方を液晶プロジェクターに接続します **①**。
- 3** 本機の電源コネクタにACアダプタのプラグを接続します **②**。
- 4** ACアダプタに電源ケーブルのプラグを接続します **③**。
- 5** 電源プラグをコンセントに差し込みます **④**。



メモ

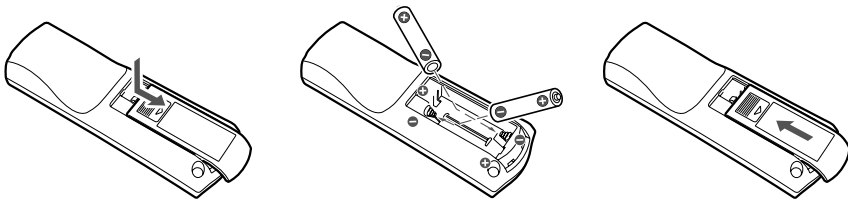
本機はパソコンと接続されていると「スキャナモード」になります。「プレゼンテーションモード」で使用する場合は、必ず本機とパソコンを接続しているUSBケーブルを取り外してください。

リモコンを準備する

リモコン用電池のセット

リモコンを使用する前に同梱の単4形乾電池2本をリモコンに入れてください。

- 1** リモコンの電池カバーを外します。
- 2** (+)、(-) の表示に合わせて、単4形乾電池2本をリモコンに入れます。
- 3** 電池カバーを元に戻します。

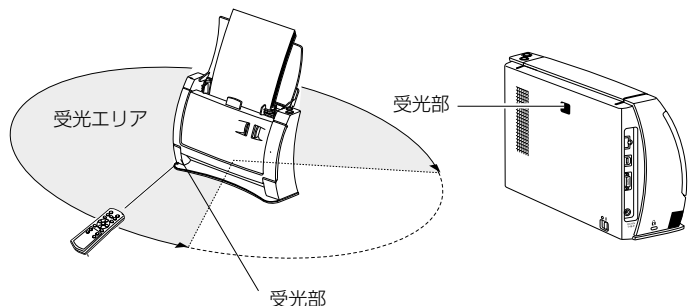


お願い

- 電池が弱くなるとリモコンの効きが悪くなります。その際は速やかに新しい電池と交換してください。また、交換した古い電池は、地域の条例に従って処分してください。
- リモコンを長時間使用しないときは乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの乾電池を交換するときは2本とも新しい電池と交換し、古い乾電池や種類の違う乾電池と混ぜないでください。
- ニッカド電池やニッケル水素電池は使用しないでください。

リモコンを使うときは

リモコンの赤外線送信部を本体の赤外線受光部に向けてリモコンのキーを押してください。リモコンの有効距離は約5mです。



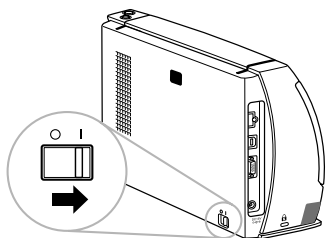
メモ

受光部に強い光が当たっている場合や、本やパソコンなどの障害物がある場合、うまくリモコン信号を認識できない可能性があります。

電源をオン/オフする

電源のオン

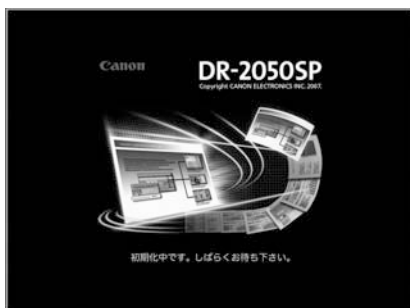
- 1 液晶プロジェクターの電源をオンにしスクリーンに投写します。
- 2 電源スイッチを右にスライドします。



お願い

本機の電源をオンにすると、オープニング画面（初期化画面）が表示され、プロジェクターとの接続状態を認識します。本機の電源をオンにする前に必ず液晶プロジェクターの電源をオンにしてください。

- 3 スクリーンにオープニング画面が表示されます。




解像度の設定でオープニング画面のサイズが変わります。（→ P.22 「プロジェクタ」）

お願い

オープニング画面が表示されている間は本体内部の初期化処理が行われていますので、この間は本機の操作は行わないでください。初期化処理は通常で約20秒、最大で約2分間かかります。

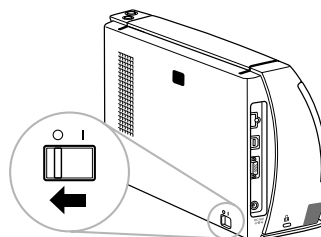
- 4 オープニング画面が終了し、メッセージ画面に切り替わります。

 原稿をセットして
FORWARDキーを押してください。

電源のオフ

1 電源スイッチを左にスライドします。

本機の電源がオフになります。



⚠ 警告

異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて本体の電源を切り、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

⚠ 注意

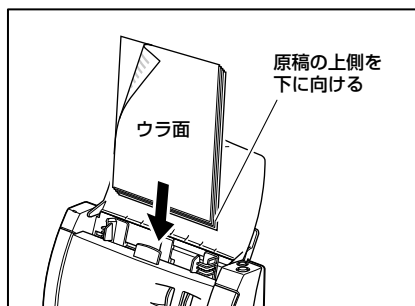
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜くことができなくなります。

使いかた

原稿を読み取る

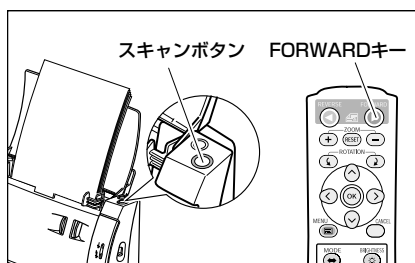
1 給紙トレイに原稿をセットします。

読み取り可能な原稿や、原稿のセットについての詳細は「DR-2050CII/SP ユーザーズガイド」をご参照ください。



2 本体のスキャンボタンまたはリモコンのFORWARDキーを押します。

原稿のスキャンが始まり、読み込まれた原稿の1ページ目がスクリーンに表示されます。複数枚の原稿を給紙トレイにセットした場合は、続けて原稿が読み込まれ本体メモリ（メインメモリ）に保存されますが、これを「先読み機能」といいます。



メモ

- 表示された画像の明るさが偏っている場合は、明るさの調整を行ってください。（→ P.16 「明るさ調整」）
- 最大保存枚数は40枚です。すでに40枚保存されているときに、41ページ目をスキャンすると先頭ページの画像が削除されます。
- 原稿トレイに原稿があるうちは、最大保存枚数に到達するまで自動的に先読みします。
- 読み込んだ枚数はサムネイル表示で確認できます。
- メニューツールバーが表示されていないとき、OKキーはFORWARDキーと同じ機能になります。

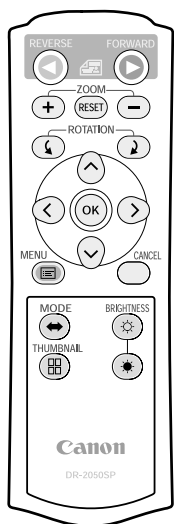
3 再度、本体のスキャンボタンまたはリモコンのFORWARDキーを押します。

先読みによってメインメモリ内に保存された次の画像が表示されます。このとき、原稿が給紙トレイに残っていれば、その原稿がメモリに読み込まれます。なお、メモリに保存可能な枚数を超えた場合は、表示済みの古い画像から消去されます。

画面の操作

スクリーンに表示した画面はリモコンまたはスクリーンに表示させたメニューツールバーを使って操作することができます。

リモコン

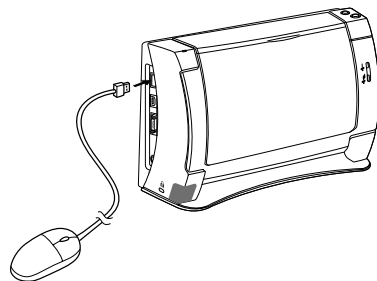


操作キー	機能
REVERSE (リバース)	スクリーンに表示されている画像のひとつ前の画像を表示します。
FORWARD (フォワード)	給紙トレイにセットした原稿を読み取ったり、メモリに保存されている次の画像を表示します。
ZOOM (ズーム)	+ : スクリーン上の画像を拡大表示します。 - : スクリーン上の画像を縮小表示します。 RESET : スクリーン上の画像を表示方式に合わせて表示します。(→ P.22 「表示方式」)
ROTATION (🕒, 🕒) (ローテーション)	🕒 キーでスクリーン上の画像を時計回りに90度ずつ回転します。🕒 キーでスクリーン上の画像を反時計回りに90度ずつ回転します。
△, V, <, > (矢印キー)	画像が拡大表示されている場合は、画像を矢印の方向にスクロールします。カーソルが表示されている場合は、カーソルの移動に使用します。このとき、カーソルを画像の端に移動させると、画像がスクロールします。
OK	メニューツールバーや設定ツールバーの項目を選択します。また、フォルダ画面やサムネイル画面が表示されているときは、フォルダや画像を選択します。メニューツールバーが表示されていないときは FORWARD キーと同じ動きをします。
MENU (メニュー)	メニューツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。
CANCEL (キャンセル)	メニュー操作をキャンセルします。
MODE (モード)	メインメモリモードと USB メモリモードを切り替えます。
THUMBNAIL (サムネイル)	スクリーンに表示されている画像をサムネイル表示します。サムネイル表示中はフォルダ表示します (USB メモリモード時のみ)。
☀, ☀ (明るさキー)	スクリーン上の画像の明るさを調整します。

USB マウス

市販のUSBマウスを接続できます。マウスの右ボタンをクリックするとメニューツールバーが表示されますので、マウスを動かし、カーソルを移動して機能を選択できます。

左クリック : リモコンの FORWARD、OK キーと同じ
右クリック : リモコンの MENU、CANCEL キーと同じ
ホイール : リモコンの ZOOM キーと同じ
(回転 : 拡大 / 縮小、クリック : RESET キーと同じ)

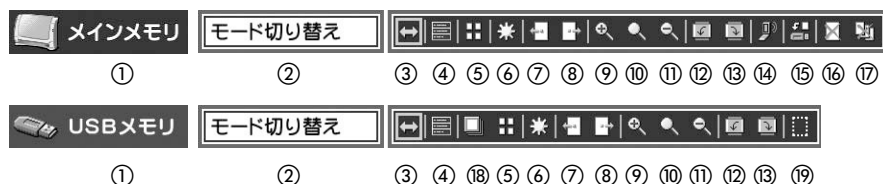


メモ 特殊なドライバを必要とする USB マウスは正しく動作しません。

使いかた

メニューツールバー

リモコンのMENU キーを押すとスクリーン右上にメニューツールバーが表示されます。メニューツールバーのボタンを選ぶときは矢印キー (<, >) を使い、OK キーで決定します。なお、メニューツールバーは「メインメモリモード」と「USB メモリモード」で異なります。



- ① モード表示: 現在のメモリモードを表示します (解像度の設定により表示が異なります)。メニュー表示中は、画面左上にこのアイコンが表示されます。
- ② ボタン名称: カーソルが選択しているボタンの名前を表示します。
- ③ モード切り替え: メインメモリ (本体メモリ) モードとUSBメモリモードを切り替えます。(→ P.16)
- ④ 設定: 設定ツールバーを表示します。(→ P.19 「設定」)
- ⑤ サムネイル: スキャンした画像をサムネイル表示します。(→ P.15 「サムネイル表示」)
- ⑥ 明るさ: 明るさ調整ダイアログを表示して画像の明るさを調整します。(→ P.16)
- ⑦ 前ページ: メモリに保存されているひとつ前の画像を表示します。
- ⑧ 次ページ: メモリに保存されている次の画像を表示します。(→ P.15)
- ⑨ 拡大: 画像を拡大表示します。
- ⑩ 標準: 画像の表示を、表示方式に合わせて表示します。
- ⑪ 縮小: 画像を縮小表示します。
- ⑫ 左回転: 画像を反時計回りに90度ずつ回転します。
- ⑬ 右回転: 画像を時計回りに90度ずつ回転します。
- ⑭ 赤外線通信: 携帯電話のような赤外線通信機器から画像データを受信します。(→ P.16)
- ⑮ USBメモリ保存: 現在表示されている画像をUSBメモリに保存します。(→ P.18)
- ⑯ 1ページ削除: 現在表示されている画像を本体のメインメモリから削除します。
- ⑰ 全ページ削除: 本体のメインメモリに保存されている画像をすべて削除します。
- ⑱ フォルダの選択: USBメモリ内の画像ファイルを含むフォルダを表示します。
- ⑲ 非表示: 選択している画像を非表示にします。本体のメインメモリから画像が削除されますが、USBメモリからは削除されません。

メモ

■ 使用できない機能のボタンは選択できません。

ページ操作

次ページ



ページの操作は本体のスキャン/ストップボタン、リモコンのFORWARD/REVERSEキーまたはメニューツールバーの次ページ/前ページで行います。読み取った画像はメモリに保存され、前に表示した画像に戻って表示させることができます。



メモ

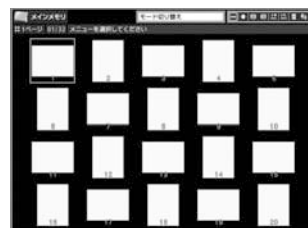
- FORWARD/次ページを押したときに、給紙トレイに原稿があると読み取りが行われます。
- メモリに保存できる枚数をこえた場合、表示済みの古い画像から消去されます。
- メニューツールバーが表示されていないときは、OK キーでも同じ機能を実行します。

サムネイル表示

サムネイル



メニューツールバーでサムネイルボタンを選択し、OK キーを押すとメモリに保存されている画像を、サムネイル表示します。なお、サムネイル表示できる画像の最大枚数は40枚です。



サムネイル表示 (メインメモリモード時)

サムネイルメニュー

サムネイルが表示されているときにリモコンのMENUキーを押すと、スクリーン右上にサムネイルメニューが表示されます。

モード切り替え



①

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

(メインメモリモード時)

モード切り替え



①

② ⑩ ③ ④ ⑤ ⑪

(USBメモリモード時)

- ① ボタン名称: カーソルが選択しているボタンの名前を表示します。
- ② モード切り換え: メインメモリ (本体メモリ) モードとUSBメモリモードを切り替えます。
- ③ ページの移動: 画像の位置を移動することができます。移動する画像を矢印キー (<, >) で選び、OK キーで決定します。つぎに移動先を矢印キー (<, >) で選びOK キーで決定します。
- ④ 左回転: 画像を反時計回りに90度ずつ回転します。
- ⑤ 右回転: 画像を時計回りに90度ずつ回転します。
- ⑥ USBメモリに保存: 選択している画像をUSBメモリに保存します。
- ⑦ USBメモリに一括保存: サムネイルに表示されている全画像をUSBメモリに保存します。
- ⑧ 1ページ削除: 選択している画像を削除します。本体のメインメモリから画像が削除されます。
- ⑨ 全ページ削除: サムネイルに表示されている全画像を削除します。本体のメインメモリから画像が削除されます。
- ⑩ フォルダの選択: USBメモリ内の画像ファイルを含むフォルダを表示します。
- ⑪ 非表示: 選択している画像を非表示にします。本体のメインメモリから画像が削除されますが、USBメモリからは削除されません。

使いかた

明るさ調整

明るさ調整



メニューツールバーで明るさを選択し、OKキーを押すと、メニューツールバーの下にスライダが表示されます（スライダが表示されてから3秒間何も操作が行われないとスライダは自動的に閉じます）。メニューツールバーが表示されていないとき、リモコンの☀、☼（明るさキー）を押すと、メニューツールバーは表示されずにスライダのみ表示されます。スクリーンに表示する画像の明るさは、リモコンの矢印キー（<,>）または☀、☼でスライダを左右に動かして調整します。



メモ

- 「明るさ調整」画面が表示されたとき、現在の明るさの設定が反映されています。
- 調整画面のスライダは、リモコンのキー操作に連動して動きます。
- 原稿を明るく表示する場合はスライダを右へ、濃く表示する場合は左へ調整します。

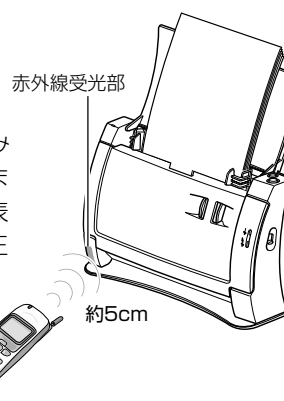
赤外線通信

赤外線通信



赤外線通信機器との通信によって画像データを本体のメインメモリに読み込みます。例えば、携帯電話*で撮影した画像を読み込んで表示することができます。赤外線通信を始めると「赤外線通信を開始します」というメッセージが表示されますので、携帯電話を本機の赤外線受光部正面に向けて送信します。正しく通信終了すると「赤外線通信に成功しました」が表示されます。

*お使いの携帯電話が赤外線通信に対応している必要があります。ただし、すべての携帯電話との通信を保証するものではありません。



メモ

- 赤外線通信はメインメモリモード時のみ使用できます。
- 対応画像ファイル形式は、JPEG（ベースラインモード）、最大画像ファイルサイズは4MBです。

モード切り替え

モード切り替え



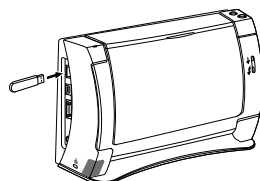
リモコンのMODEキー、またはメニューツールバーのモード切り替えによって、原稿スキャン画像の表示、保存を行う「メインメモリモード」と、本機に接続しているUSBメモリ内の画像ファイルの表示を行う「USBメモリモード」を切り替えます。

USBメモリを使う

USBメモリの画像を読み込む (USBメモリモード)

1 USBメモリを接続します。

正しく接続されると「USBメモリが接続されました。…」と表示されます。




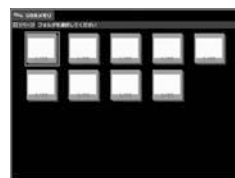
2 「はい」を選択し、リモコンのOKキーを押します。

3 リモコンで表示したい画像を含むフォルダを選択します。

フォルダ内の画像がサムネイル表示されます。

フォルダ表示画面について

- メニューツールバーは表示されません。
- リモコンのFORWARD/REVERSEキー、または本体のスクリーン/ストップボタンを押すと、選択されているフォルダ内の次画像 / 前画像が表示されます。
- 認識できる最大フォルダ数は40です。
- フォルダ内の画像が表示できない場合、が表示されます。



フォルダ表示 (USBメモリモード時)



サムネイル表示 (USBメモリモード時)

4 表示したい画像を選択します。

メモ

- 市販のUSBメモリ (USB2.0、USB1.1) を接続できます。
- USBメモリが接続されているときは、リモコンのMODEキーでメインメモリモードとUSBメモリモードを切り替えられます。このとき、メインメモリ上の画像はすべて消去されます。
- USBメモリモードからメインメモリモードに戻るときは、再度リモコンのMODEキーを押すか、メニューツールバーのモード切り替えを選択します。メインメモリモードに戻ると、原稿をスキャンするよう表示されます。
- USBメモリが認識されない場合、または、USBメモリ内に画像がない場合は、USBメモリモードになりません。
- USBメモリモードのときに、USBメモリを抜くとメインメモリモードとなります。このとき、本体のメインメモリの画像も消去されます。
- パスワードなどのセキュリティ機能付きのUSBメモリは使用できません。マスストレージクラス対応のUSBメモリは動作可能です。ただし、すべてのUSBメモリに対し、動作を保証するものではありません。
- 対応画像形式は、JPEG、BMP (非圧縮)、PNG、TIFF (非圧縮、シングルページ) です。PDFには対応していません。
- USBメモリ内に大きな画像ファイルがあると、表示されるまでの時間が長くなることがあります (推奨解像度はA4サイズ時で150dpi以下です)。

使いかた

USB メモリに保存する



メインメモリモードのとき、リモコンのMODEキー、またはメニューツールバーのUSBメモリに保存を選択してOKキーを押すと、現在表示されている画像をUSBメモリに保存します。



- 保存される画像ファイルサイズは、設定ツールバーの「読み取りサイズ」での設定によります
- 解像度は150dpi、ファイル形式はJPEG、保存日時は2007年1月1日AM10:00固定になります。
- DR-2050SP/XX (XXは01～40の連番) フォルダが作成され、そこにDR〇〇.jpg (〇〇は01～40の連番) というファイル名で保存されます。
- パスワードなどのセキュリティ機能付きのUSBメモリは使用できません。マストレージクラス対応のUSBメモリは動作可能です。ただし、すべてのUSBメモリに対し、動作を保証するものではありません。

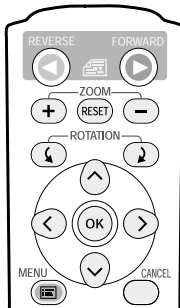


USBメモリに画像保存中は電源ランプが緑色点滅します。点滅中はUSBメモリを抜くなど、スキャナに手を触れないでください。メモリの内容が壊れるおそれがあります。正しく保存されると点滅→点灯に変わります。保存できなかった場合は「USBメモリに保存できませんでした」のメッセージが表示されます。

設定する

本機の設定

本機の設定は、スクリーン右上に表示される設定ツールバーを見ながら、リモコンを使って行います。



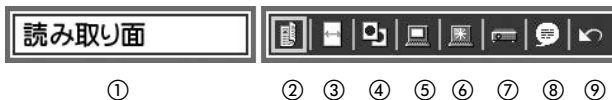
操作キー	機能
MENU (メニュー)	メニューツールバーをスクリーンに表示します。また、設定ツールバーからメニューツールバーに戻します。
∧, ∨, <, > (矢印キー)	メニューツールバーや設定ツールバーのカーソルを移動します。
OK	カーソルで選んだ機能を選択します。

1 MENU キーを押します。

画面右上にメニューツールバーが表示されます。



2 カーソルを [設定] に合わせて OK キーを押します。設定ツールバーに切り替わります。



カーソルを動かし、OK キーを押すとその項目を変更できるようになります。

- ① ボタン名称: カーソルが選択しているボタンの名前を表示します。
- ② 読み取り面: 片面スキャンか、両面スキャンかを指定します。(→P.21)
- ③ 読み取りサイズ: 読み取る用紙サイズを指定します。(→P.21)
- ④ 読み取りモード: 解像度を標準にするか、スムージングにするか指定します。(→P.21)
- ⑤ 表示方式: 画像の表示方式を指定します。(→P.22)
- ⑥ パワーセーブ: パワーセーブモードに移行する時間を指定します。(→P.22)
- ⑦ プロジェクタ: スクリーンに表示する解像度を指定します。(→P.22)
- ⑧ 言語: メニューやメッセージ表示に使用する言語(日本語/英語)を設定します。(→P.23)
- ⑨ 終了: 設定を保存して終了し、メニューツールバーに戻ります。(→P.23)

*USB メモリモード時は、②③④は設定できません。

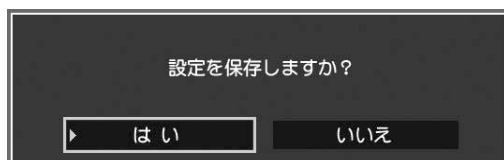


設定を変更しないで「終了」を選択するか、MENU キーまたは CANCEL キーを押すとメニューツールバーに戻ります。

設定する

- 3** 「終了」にカーソルを合わせてからOKキーを押すか、MENUキーまたはCANCELキーを押します。

「終了」画面が表示されます。設定を何も変更していない場合は、この画面は表示されず、設定ツールバーが閉じてメニューツールバーに戻ります。



- 4** 「はい」にカーソルを合わせてからOKキーを押します。

設定が保存され、メニューツールバーに戻ります。

「いいえ」を選択すると、設定が保存されずにメニューツールバーに戻ります。

メモ

「終了」にカーソルを合わせないでCANCELキーを押すと、設定は保存されずに設定ツールバーが閉じ、メニューツールバーに戻ります。

設定項目

設定項目には以下の項目があります。設定を変更する場合には矢印キー（<、>、^、v）でカーソルを移動しOKキーで決定します。

読み取り面

読み取る原稿面を指定します。

読み取り面



設定値	内容
片面	原稿の片面だけをスキャンします。
両面	原稿の両面をスキャンします。



メモ 両面の場合、画像処理の関係で搬送が一時停止することがあります。

読み取りサイズ

読み取る用紙サイズを指定します。

読み取りサイズ



設定値	内容
全幅	読み取り幅は216mm固定です。
自動認識	読み取りの幅を自動的に認識し、斜行補正を行います。



メモ 自動認識を選択しても、原稿の内容によっては正しく認識されないことがあります。

読み取りモード

読み取りモードを設定します。

読み取りモード



設定値	内容
標準	150dpiで読みとります。
スムージング	標準よりも低速で読み取り、モアレを低減します。



メモ スムージングの場合、画像処理の関係で搬送が一時停止することがあります。

設定する

表示方式

本画像の表示方式を指定します。

表示方式



設定値	内容
幅に合わせる	画像をスクリーンの幅に合わせて表示します。
高さに合わせる	画像をスクリーンの高さに合わせて表示します。
画像に合わせる	画像をスクリーン全体に収まるように表示します。

パワーセーブ

本機の操作を中断してからパワーセーブモードに移行するまでの時間を指定します。

パワーセーブ



設定値	内容
無効	パワーセーブモードに移行しません。
10分	10分後にパワーセーブモードに移行します。
1時間	1時間後に //
3時間	3時間後に //
6時間	6時間後に //



メモ

- パワーセーブモードのときは、プロジェクタへの出力が停止されます。
- パワーセーブモードから復帰するときは、本体の操作ボタンまたはリモコンのキー操作をしてください。

プロジェクタ

プロジェクタに表示する画像の解像度を設定します。

プロジェクタ



設定値	内容
SVGA	表示解像度をSVGA(800x600ドット)で表示します。
XGA	表示解像度をXGA(1024x768ドット)で表示します。
SXGA	表示解像度をSXGA(1280x1024ドット)で表示します。
自動認識	プロジェクタの解像度に合わせて表示します。



メモ

- プロジェクターの解像度が不明の場合は[自動認識]または[SVGA]に設定してください。
- 自動認識に設定した場合、本機の電源を入れた時にプロジェクターの電源が切れていたときや、プロジェクターが自動認識に対応していないときなど、プロジェクターの自動認識に失敗した場合は[SVGA]に設定されます。

言語

言語

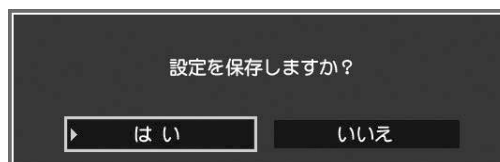
ツールバーとメッセージ表示言語を設定します。

設定値	内容
English	メニューツールバーを英語で表示します。
日本語	メニューツールバーを日本語で表示します。



終了

設定を変更した場合に確認の画面を表示します。



設定値	内容
はい	変更した設定を保存してメニューツールバーに戻ります。
いいえ	変更した設定を保存しないでメニューツールバーに戻ります。



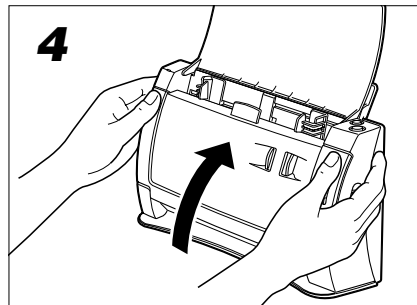
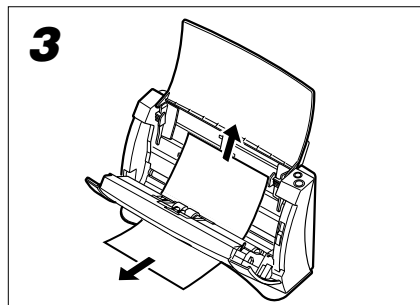
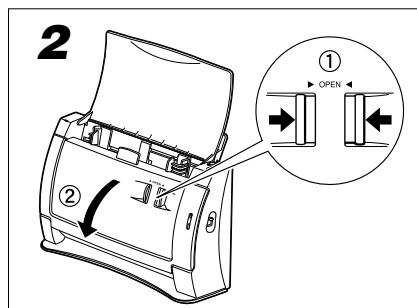
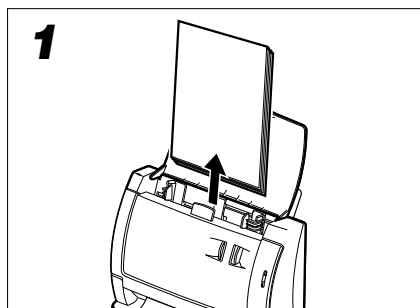
メモ

設定を変更した場合、「終了」にカーソルを合わせてから OK キーを押すか、MENU キーまたは CANCEL キーを押すと設定変更の確認の画面が表示されます。

困ったときは

紙が詰まったら

読み取り中に原稿が詰まった場合は次のようにして取り除いてください。また、詳しくは「DR-2050CII/SP ユーザーズガイド」をごらんください。



メッセージが表示されたら

スクリーンにメッセージが表示されたときは、以下のように対処してください。

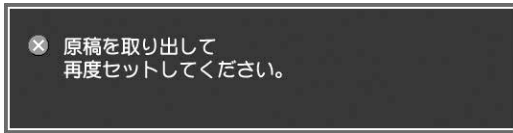
❗ 原稿をセットして
FORWARDキーを押してください。

原因: 本体のメインメモリに原稿が読み込まれていないため、表示する画像がなく、読み込み待ちの状態です。
対処: 原稿を読み込んでください。

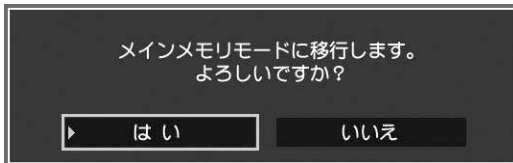
原因: 原稿が正しくセットされていません。
対処: 原稿を再度セットしてください。



ページ操作を行ってこれ以上表示する画像がない場合や、起動時の初期化処理後、および、紙づまりの処理後にもこのメッセージが表示されます。

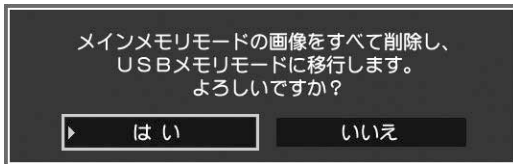


原因: 給紙エラーです。
対処: 原稿を取り除いて、セットし直してください。

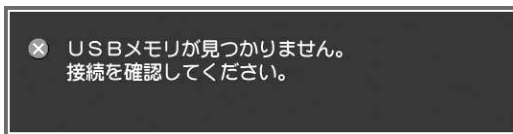


原因: 紙づまりが起きました。
対処: つまった原稿を取り除いてください。

原因: USBメモリモードのときにリモコンのMODEキーが押され、メインメモリモードに移るかどうかを確認しています。
対処: メインメモリモードに移るときは「はい」を選択します。

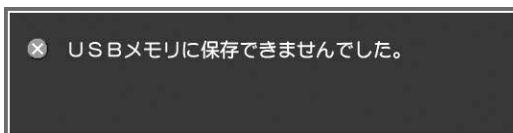


原因: メインメモリモードのときにリモコンのMODEキーが押され、USBメモリモードに移るかどうかを確認しています。
対処: USBメモリモードに移るときは「はい」を選択します。ただし、メインメモリに保存された画像はすべて削除されます。



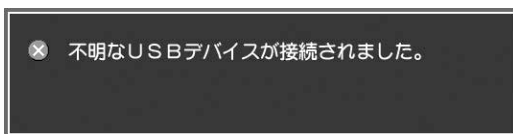
USBメモリがセキュリティによって保護されているときにも表示されることがあります。

原因: メインメモリモードのときにリモコンのMODEキーが押され、USBメモリモードに移ろうとしましたが、USBメモリの接続を確認できません。
対処: USBメモリをいったん取り外し、再度接続し直してください。

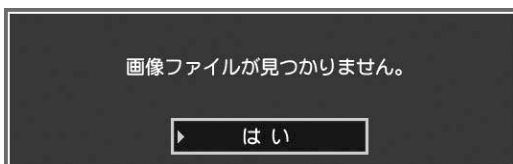


USBメモリがセキュリティによって保護されているときにも表示されることがあります。

原因: メインメモリの画像をUSBメモリに保存しようとしたのですが、保存できませんでした。
対処: USBメモリがしっかりと接続されているかどうか、あるいは空き容量(4MB以上)があるか確認し、再度操作し直してください。



原因: セキュリティ機能付きのUSBメモリ、またはUSBメモリ以外のデバイスが接続されました。
対処: セキュリティ機能の付いていないUSBメモリをお使いください。



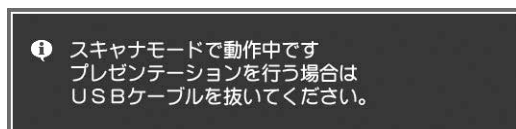
USBメモリがセキュリティによって保護されているときにも表示されることがあります。

原因: USBメモリ内の画像を認識できません。
対処: 認識できる画像が保存されているUSBメモリを接続してください。

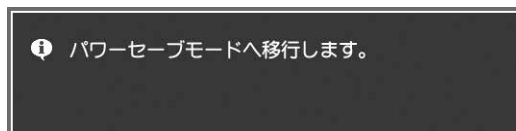
困ったときは



原因: 赤外線通信の準備が整いました。
対処: 携帯電話のような赤外線通信機器から画像を送信してください。



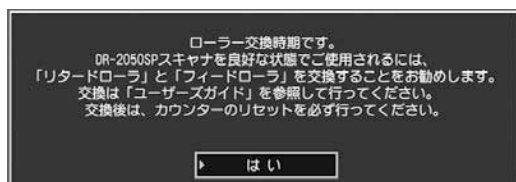
原因: スキャナモードでリモコンを使用しました。
対処: リモコンはプレゼンテーションモードでのみ使用できます。プレゼンテーションモードにするためにはパソコンにつないだUSBケーブルを本機から外してください。



原因: 一定時間何の操作も行わなかったためパワーセーブモードになり、表示を停止します。
対処: 復帰するときは本体のボタンか、またはリモコンのキーを操作します。



原因: 本体内部でエラーが発生しました。
対処: USBポートにUSBメモリ、USBマウス、その他のデバイスが接続されている場合は、すべてのUSBデバイスを取り外してから電源を入れ直してください。それでもなおエラーが表示される場合は、エラーNo.を控えてから販売店または担当サービスにお問い合わせください。



原因: 搬送枚数が3万回を超え、ローラー交換時期になりました。
対処: 交換ローラーキットをお買い求めになり、フィードローラ、リタードローラを交換してください。詳しくは「DR-2050CII/SP ユーザズガイド」をお読みください。

スクリーンに何も表示されないときは

以下についてご確認ください。

- RGB ケーブルが正しく接続されているか、またはプロジェクターの設定が正しいか（プロジェクターの取扱説明書もご覧ください）。
- プロジェクターが対応していない解像度を本機で設定すると正しく表示されません。このときは、いったん本機の電源を切り、本体のスキャンボタンを押しながら電源スイッチをオンにしてください。



メモ

この操作によって、本機は SVGA 表示で起動します。それでもなおスクリーンに何も表示されない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

おもな仕様

DR-2050SPプレゼンテーションモード時の仕様です。スキャナーモード時の仕様は、別冊の「DR-2050CII/SP ユーザーガイド」をご覧ください。

■ 本体

形式	卓上型シートスルースキャナ
読み取り原稿サイズ	幅： 55～216mm 長さ： 70～297mm (分離給紙) 70～297mm (非分離給紙) 厚さ： 52～128g/m ² 0.06～0.15mm (分離給紙) 42～157g/m ² 0.05～0.2mm (非分離給紙)
給紙方法	自動
読み取りセンサ	コンタクトイメージセンサ
光源	LED
読み取り面	片面/両面
読み取りモード	24ビットカラー
読み取り解像度	主走査 150dpi × 副走査 150dpi
読み取り階調数	24bit カラー (16,777,216色)
表示階調数	16bit カラー (65,536色)
表示解像度	SVGA (800×600)、XGA (1,024×768)、SXGA (1,280×1,024)
同期周波数(水平/垂直)	
SVGA 表示	36MHz / 56Hz
XGA 表示	65MHz / 60Hz
SXGA 表示	108MHz / 60Hz
バッファメモリ	画像表示用 32MB (最大 40 枚)
インタフェース	アナログ RGB D-sub15ピン、USB ホスト
外形寸法	298 (幅) × 100 (奥行き) × 197 (高さ) mm
給紙トレイ拡張時	298 (幅) × 132 (奥行き) × 323 (高さ) mm
質量	約 2.6kg (AC アダプタを除く)
電源	DC16V 0.8A (AC アダプタ使用時)
消費電力	動作時：最大 16W 待機時：4W 電源スイッチ OFF 時：0.4W
騒音	66dB 以下
使用環境	温度: 10℃～32.5℃ 湿度: 20%～80%RH (結露なきこと)

■ リモコン

形式	赤外線リモコン
通信プロトコル	PPM 方式
寸法	45 (幅) × 170 (奥行き) × 19 (高さ) mm
電源	単 4 形乾電池 × 2 本

※ 仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または次ページに記載されているサービス窓口へご相談ください。

■ 修理を依頼される前に

24ページの「困ったときは」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■ 補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

サービス&サポートのご案内

● お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号



050-555-90072

受付時間： <平日> 9:00～12:00 / 13:00～17:00

(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。)

- ※ 本製品にバンドルされているアドビ製品についてのお問い合わせについては、「DR-2050CII/SP ユーザーズガイド」をご参照ください。
- ※ 上記番号は050から始まるIP電話(株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー(NTT-ME)のXePhion Call Direct) を利用しています。
NTTの固定電話(一般回線)から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金(10.4円/3分)でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承ください。
- ※ お客さまが050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながりない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話(接続)可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP電話からつながらない場合の事象(話中音、アナウンス、ブザー音など)はプロバイダーによって異なります。
また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ※ 上記番号におかけになってもつながりない場合は、NTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、**043-211-9156**におかけくださいますようお願いいたします。
- ※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ(<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>)をご参照ください。

● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャノンマーケティングジャパン(株)販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

● キャノンホームページ <http://canon.jp/>

- ※ <http://canon.jp/support>では、製品情報、最新ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ※ 通信料はお客様のご負担になります。

修理受付窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。下記、修理受付窓口の受付時間は、9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませさせていただきます。(ただし、東京QRセンター、新宿QRセンターの営業時間は、10:00AM～6:00PM、休業日は日曜、祝祭日です。)また、※印のQRセンター、サービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

お願い：DR-2050CII/SPのお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区

※札幌サービスセンター

TEL 011-728-0665 〒0608522 北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE山京ビル1F

東北地区

※仙台QRセンター

TEL 022-217-3210 〒9808560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルチング1F

関東・信越地区

東京QRセンター

TEL 03-3837-2961 〒1100005 東京都台東区上野1-1-12 信井ビル1F

新宿QRセンター

TEL 03-3348-4725 〒1630401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F

横浜QRセンター

TEL 045-312-0211 〒2200004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル2F

東日本修理センター

TEL 043-211-9032 〒2618711 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンMJ幕張事業所1F

※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）

TEL 0297-35-5000 〒3060605 茨城県坂東市馬立(マダ)1234 F7棟3F

中部・北陸地区

※名古屋QRセンター

TEL 052-939-1830 〒4618511 愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F

近畿地区

※大阪QRセンター

TEL 06-6459-2565 〒5300005 大阪府大阪市北区中之島6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F

中国・四国地区

広島サービスセンター

TEL 082-240-6712 〒7300051 広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビル1F

九州地区

※福岡QRセンター

TEL 092-411-4173 〒8120017 福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノンMJ福岡ビル1F

2006年10月1日現在 上記の内容は都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

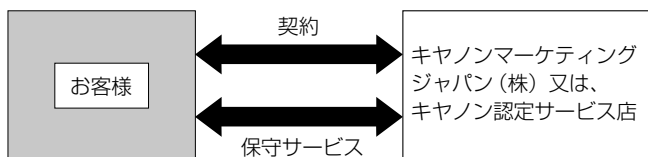
保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

※天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。

※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店までお願いします。

Canon

キャノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER



CE-IJ-550